

第67回

常設国際アルタイ学会

2025

8/26

TUE

30

SAT



共通論題

「アルタイ学の回顧と展望」

会場

一般社団法人 倫理研究所 富士高原研修所

(静岡県御殿場市印野1383-9)

↓会場

日程

8/26 夕食前集合

27-29 研究発表

エクスカーション

30 朝食後解散



参加方法

申し込みは下記か会長（宮脇）まで

Secretary General of the PIAC, Oliver Corff

email: secretarygeneral@altaist.org

申込者に対し、参加費・詳細なスケジュール・Abstractの期限をお知らせします。

*今大会はりそなアジア・オセアニア財団及び静岡県東部地域
コンベンションビューローの助成を受けて開催されます。

お問い合わせ

第67回PIAC会長：宮脇淳子 (公益財団法人 東洋文庫 研究員)

E-mail: okadamiyawaki@gmail.com

寄付金振込先 三菱UFJ銀行 駒込支店 普通 0677482
常設国際アルタイ学会



第 67 回常設国際アルタイ学会 (PIAC) 寄付のお願い

2025 年 8 月 26 日～30 日の 4 泊 5 日、静岡県御殿場市印野にあります、一般社団法人倫理研究所 富士高原研修所を借り切り、第 67 回常設国際アルタイ学会 (Permanent International Altaistic Conference, PIAC) を開催することになりました。

アルタイ学とは、オスマン語をはじめとするトルコ諸語、モンゴル語、満洲・トゥングース語など、アルタイ山脈の東西に広がる言語をアルタイ語族と総称することから名づけられた学問分野で、1958 年に西ドイツで開催されて以来、毎年世界中の学者が持ち回りで開催してきた、中央ユーラシアの言語・文化・歴史に関する由緒ある学会です。日本で開催するのは 1995 年に岡田英弘が会長になって招聘した第 38 回大会以来です。

世界中からおおよそ 40 名の学者が来日、日本の学者と寝食をともにし、各自研究発表をおこないます。半日の遠足と毎夜の歓談も楽しむ予定です。

日本の美味しいものを食べてもらい、美味しいお酒も用意したいと考えています。モンゴル、カザフスタン、キルギズ、東欧などから来日する若い学者たちをもてなすという趣旨に賛同してくださる篤志家からご寄付をいただきたく、お願いする次第です。

3 万円の寄付者には、目下絶版で増刷予定の、私が解説を加えた『岡田英弘著作集第 8 巻 世界的ユーラシア研究の六十年』(藤原書店、税込 9,680 円) を返礼品とします。

5 万円以上寄付をいただいた方には、8 月 29 日午後から御殿場の研修所で学会聴講、夜の懇親会にも参加して、海外の学者たちとの交流を楽しんでもらいたいと思います。新宿に戻る小田急高速バスの最終は、御殿場午後 8 時 30 分発ですが (バスタ新宿 10 時 30 分着)、希望者には実費 (1 万円、朝食付き) で研修所宿泊を準備します。

問い合わせと寄付金振込先は、チラシ表面をご覧ください。

宮脇 淳子